



# 多文化共生 はじめての一步

～地域で広がる、世界との輪～

問い合わせ 国際・交流課 (☎内線482) ページID: 1878・2042

現在、本市には39か国、約800名・680世帯を超える外国籍の人が暮らしています。近年は家族そろっての滞在が増え、市内の小中学校に通う外国籍の子どもたちも年々増加しています。

言葉や文化の壁を越えてお互いを理解し、誰もが安心して暮らしやすいまちなるよう、市民の皆さんが気軽に他国の文化に触れて国際交流できるイベントの開催や留学生・在住外国人への支援を本市では行っています。

今回はその中心を担う(公財)太宰府市国際交流協会と、実際に地域で開催された国際交流イベントについて担当者にインタビューを行いました。本市の多文化共生のリアルな声をお届けします!



公益財団法人 太宰府市国際交流協会

困りごとから楽しい交流まで! カケハシとなる

あたたかい場所で  
ありたい

この協会は、国籍や文化の違いを認め合い、共に暮らす「多文化共生」の社会づくりを進めることを目的に、平成4年10月に設立されました。誰もが気軽に立ち寄れる場所を目指し、日本人と外国人が互いを知り、多様な背景を持つ人々が自然につながる力ケハシとなるよう、国際交

流イベントの開催や留学生・在住外国人支援など、さまざまな取り組みを行っています。

これまで多くの市民の皆さんと一緒に活動してきました。これからも国際交流に関することや地域で暮らすうえでの相談など、日本人・外国人問わず多くの人が集まるあたたかい場所でありたいと思っています。



(公財)太宰府市  
国際交流協会事務局の皆さん  
(右)事務員 北田 ゆかりさん  
(中央)事務局長 中山 和彦さん

一歩、歩み寄る  
気遣いを

私たちのまちでも、外国人の方を見かけることが多くなってきました。言葉や文化が違って、これからの多文化共生社会において私たちが意識すべきことは、日常生活の中での小さな「気遣い」です。例えば、外見で外国人と分らない人は、文化の違いによる振る舞いから「変わった人」と誤解され、傷ついていることもあり。また子育て中のお母さんなどは、文化の違いから外に出る勇気が出ず、孤独を感じていることもあります。

そんな時、地域の皆さんのちょっとした理解が大きな支えになります。そもそも、人との交流は日本人同士でも難

しいものです。だから、固定概念を捨てて新しいものを受け入れる姿勢が大切です。完璧な言葉でなくても大丈夫です。「私も困った経験があるよ」と寄り添い、やさしい日本語で温かく声をかける。そんな一人ひとりの小さな歩みが、誰もが暮らしやすい多文化共生のまちをつくります。相手を思いやる想像力を持ち、地域で共に歩んでいきましょ。



(公財)  
太宰府市国際交流協会  
理事長 石 其琳

Profile  
中国(台湾)出身。筑紫女学園大学名誉教授。長年の教育・研究経験を活かし、現在は(公財)太宰府市国際交流協会理事長として多文化共生を牽引。令和3年より同協会理事、令和7年より理事長に就任。

こんな活動をしています!

## 01 交流イベントなどの開催

誰でも参加できる世界の料理教室や伝統文化体験などの講座、在住外国人・留学生と楽しく交流できるイベントなどを定期的に開催しています。



交流イベント

## 02 多言語による支援

在住外国人が安心して生活できるよう、生活情報の提供や多言語での相談対応など、暮らしを「つなぐ」サポートを行っています。



外国人のための太宰府市生活情報ガイドブック

## 03 日本語学習の支援

在住外国人が地域社会の一員として過ごせるよう、ボランティアによる日本語教室などの場を提供しています。



日本語教室の様子

外国の文化に興味がある人は  
(公財)太宰府市国際交流協会へ!

協会の趣旨に賛同し、上記のような活動に参加して一緒に国際交流を楽しんでもらえる賛助会員を募集しています! だれでも入会できます!

問い合わせ

〒818-0125 五条3-1-1いきいき情報センター 2階  
☎ (918) 5391 ✉ f-bell-club@dciea.or.jp  
FAX (918) 5392

年会費

学生 500円  
個人 1,000円  
法人 10,000円



公式ホームページ

／ お互いを知るとこんなに楽しい！！ ／

# 高雄台区梅寿会で開催されたアイルランド講演会

「来てもらう」ことで  
広がる新しい世界

64人の会員が在籍する「梅寿会」では、普段から食事会やバスハイクなど、活発に親睦を深めています。今回新たな試みとして昨年7月に開催したのが「アイルランド講演会」でした。

若い頃は多くの国を巡りましたが、自分たちが海外へ行くのが難しくなっても、こち



梅寿会 会長  
大東洋一郎さん

梅寿会の皆さんと交流できたことは宝物のような経験でした。アイルランドのことを知ってもらえただけでなく、地域の方々と直接コミュニケーションが取れたことが本当に嬉しくて、心から楽しめました。

来日当初、一番の不安は言葉の壁でした。しかし、その不安を消してくれたのは近隣に住む皆さんの温かさでした。勇気を出して目を合わせ、話しかけてみたら、皆さん本当に良い人ばかり。色々なことを親切に教えて助けてくれました。今の生活があるのは、地域の皆さんのおかげです。

地域にはまだ孤立している外国人もいるかもしれせん。もし身近に困っている外国人がいたら、ぜひ声をかけて地域のことや掃除のルールを優しく教えてあげて欲しいです。孤立せず、あいさつできる関係があることはとても安心します。私自身もボランティアなど、地域のために

らへ来てもらうって話を聞くのは素敵なことだと思っただんです。企画にあたっては、(公財)太宰府市国際交流協会へ相談。そこで紹介を受けたのが、市内に住むアイルランド出身のアイリーンさんでした。

五感で楽しむ、  
アイルランドの風

講演会は単に話を聞くだけではなく、スライドでアイルランドの文化を学び、郷土料理を味わい、さらには伝統スポーツやアイルリッシュダンスまで体験しました。

とにかく楽しかったです。体験を通じてアイルランドという国を深く知り、自身の考え方が変わるきっかけになりました。特に食事会でのアイリーンさんとの会話は、講師と聴衆という壁を越え、一人

の人間としてじっくり言葉を交わすことができ、とても良い時間となりました。参加された皆さんも「本当に楽しかった」と、とても喜んでくれました。今年も別の国について同じような企画をやりたいと考えています。

「あいさつ」から始まる、  
多文化共生の第一歩

これからの多文化共生時代において、大切にしたいのは「話す機会を増やすこと」。知らない人と付き合うことは、最初は大変かもしれませんが、

しかし、その国のことを少しでも知れば親しみがわいて自然と挨拶ができるようになります。会話が広がっていきます。これから多くの人に、多文化と交流する機会が訪れてほしいと思っています。



「似ている」からこそ  
惹かれた日本の暮らし

2012年に来日し、2016年から太宰府に住んでいますが、故郷アイルランドと日本には不思議な共通点を感じます。どちらも島国で、古

くからの地域のつながりや、控えめで奥ゆかしい国民性がよく似ています。アイルランドには「人々はお互いの影に隠れて(支え合って)生きていく」ということわざがあって、これは日本の助け合いの精神にも通じるとも素敵な考え方だと思います。



アイルランド出身  
ニヴァアアゴーン・  
アイリーンさん

地域の「あたたかさ」  
に触れて

太宰府は日本の魅力が詰まったとても素晴らしいまちです。そんな大好きなまちで、

これから  
多文化共生の時代へ

これから多文化共生の時代を歩んでいくには、多くの文化にふれて心をオープンにしていくことが大切です。特に子どもたちには、先入観なく多くの文化に触れて、人生をより豊かで素晴らしいものにしてほしいと願っています。

できることがあれば何でも協力したいと思っています。

まずはここから!!  
身近な国際交流  
はじめてみませんか?

## ◆ フレンズベル倶楽部メンバーのつどい

外国人や留学生、国際交流に興味のある人など、だれでも参加できるイベントです。歌や演奏、民族衣装ファッションショーなど世界の文化を楽しめます。



応募フォーム

開催日 6月20日(土)午後0時30分～午後3時 (食事あり)

場所 いきいき情報センター 205・206・207

内容 第1部：総会 第2部：交流会

参加費 学生・子ども300円／一般500円  
※別途、賛助会員加入(年会費1,000円、学生500円)が必要

定員 80人程度 (事前申し込みが必要)

申込方法 窓口、応募フォームか氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号を書いてメール、郵便はがき、ファクスで応募

申込期限 6月12日(金)まで



つどいの様子

## ◆ 語学・文化ボランティア

外国人、日本人問わず募集しています。活動は登録いただいた後、必要な時に依頼をします。また、「派遣してほしい」依頼も随時受け付けています。

語学ボランティア：市内団体(非営利)からの依頼による通訳・翻訳など

文化ボランティア：外国人に日本文化を伝える、日本人に母国の文化を伝える活動など

申し込み・問い合わせは(公財)太宰府市国際交流協会へ!